

# 令和4年度市政モニターWebアンケート（第3回） テーマ「防災・減災について」

市政モニター登録者数：183人  
有効回答者数：104人（56.8%）

【設問1】 あなたの年齢をお聞かせください。

選択項目	回答件数	割合
(1) 10歳代	0	0.0
(2) 20歳代	9	8.7
(3) 30歳代	33	31.7
(4) 40歳代	23	22.1
(5) 50歳代	25	24.0
(6) 60歳代	13	12.5
(7) 70歳代	1	1.0

【設問2】 あなたの性別を教えてください

選択項目	回答件数	割合
(1) 男性	28	26.9
(2) 女性	76	73.1

【設問3】 自然災害に対して不安を感じますか

選択項目	回答件数	割合
(1) とても不安に感じている	36	34.6
(2) やや不安を感じている	56	53.8
(3) あまり不安を感じていない	11	10.6
(4) 全く不安を感じていない	1	1.0

【設問4】 家庭で取り組んでいる防災対策は何ですか（当てはまるもの全て）

選択項目	回答件数	割合
(1) 食糧などの備蓄	46	44.2
(2) 防災グッズの準備	43	41.3
(3) 家具の固定	22	21.2
(4) 避難場所・ルートの確認	32	30.8
(5) 家族との連絡方法・集合場所の共有	21	20.2
(6) 貴重品の持ち出し確認	9	8.7
(7) 普段の近所づきあい	22	21.2
(8) 自宅の補修・強化	6	5.8
(9) その他	3	2.9
(10) 何も取り組んでいない	22	21.2

(9) その他

- ・ 薪の備蓄
- ・ ペット
- ・ 水の備蓄

【設問5】 設問4で「(10)何も取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。家庭での防災対策に取り組んでいない主な理由は何ですか（最も近いものを1つ）

選択項目	回答件数	割合
(1) 何から取り組めばいいか分からない	7	31.8
(2) 必要だと思うが、準備が面倒	11	50.0
(3) 本当に必要なのか分からない	2	9.1
(4) 備えがなくても、何とかなると思う	2	9.1
(5) その他	0	0.0

【設問6】食糧や生活用品などで備蓄・準備しているものは何ですか（当てはまるもの全て）

選択項目	回答件数	割合
(1) 非常食（缶詰、クラッカー、カンパン、アルファ米など）	41	39.4
(2) 飲料水	51	49.0
(3) 毛布、タオルケット、寝袋	26	25.0
(4) 照明器具（懐中電灯、ろうそく、ランタンなど）	53	51.0
(5) 携帯ラジオ	28	26.9
(6) 救急医薬品（キズ薬、ばんそうこう、かぜ薬など）	38	36.5
(7) 蓄電池（モバイルバッテリーなど）	27	26.0
(8) その他	5	4.8
(9) 食糧や生活用品などの備蓄・準備はしていない	18	17.3

(8) その他

・水を入れる大きい容器。カセットコンロとガス

・ソーラーパネル

・カセットコンロとガスボンベ、電気を必要としない石油ストーブ、大きい鍋、水を入れる為のタンク

・下着等

・簡易トイレ

【設問7】設問6「(1)非常食（缶詰、クラッカー、カンパン、アルファ米など）」と答えた方にお聞きします。何日分の非常食を備蓄していますか

選択項目	回答件数	割合
(1) 1日分	6	14.6
(2) 2日分	10	24.4
(3) 3日分	15	36.6
(4) 4日分以上	9	22.0
(5) 未回答	1	2.4

【設問8】設問6で「(2)飲料水」と答えた方にお聞きします。何日分の飲料水を備蓄していますか ※飲料水の必要な備蓄量は1人・1日当たり3ℓです。4人家族の場合は12ℓで1日分になります。

選択項目	回答件数	割合
(1) 1日分	20	39.2
(2) 2日分	14	27.5
(3) 3日分	14	27.5
(4) 4日分以上	3	5.9

【設問9】 地域住民による任意の防災組織である、自主防災組織を知っていますか

選択項目	回答件数	割合
(1) はい	12	11.5
(2) いいえ	92	88.5

【設問10】 自治会等において、自主防災組織はありますか

選択項目	回答件数	割合
(1) ある	10	9.6
(2) ない	7	6.7
(3) わからない	87	83.7

【設問11】 設問10で「ある」を選択した方にお伺いします。自主防災組織の活動に参加したことがありますか

選択項目	回答件数	割合
(1) ある	7	70.0
(2) ない	2	20.0
(3) 未回答	1	10.0

【設問12】設問11で「ない」を選択した方にお伺いします。どのようにすれば自主防災組織の活動に参加しようと思いますか

- ・子連れでいけるイベント、緊急車両に乗れるとかゲームができるとか。
- ・オンラインや後から動画視聴出来るのであれば参加したい。
- ・日曜が仕事のため、なかなか参加できていない。多くの人に参加してもらうためには日曜など休日開催は仕方ないと思いますが・・・。
- ・「防災組織の活動」だけではなく、常日頃の近所付き合い（どこに誰がいる、声掛けしやすい関係づくり）が大切かと思う。地域の祭り・共同作業やイベントなどで顔をつなげる機会があれば良い。
- ・まず、認知されていないので、たくさんの方に知ってもらうことからではないでしょうか？広報に掲載されたのでしょうか？見落としてしまうくらいでしょうか？
- ・何か得があれば
- ・飲み会などの必要外の活動がないこと。
- ・アプリ等を作って情報を取得しやすくする。
- ・定期的に訓練を行う行事をしないといざという時、組織で活動は難しいと思います。
- ・いざという時にタッグを組める地域の人々の組織が出来ていれば
- ・町内仲が悪いので無理ですね
- ・どんな活動をしているのか知りたい
- ・参加したら特典があるなど、魅力的な何かがあれば。
- ・共通意識を持つための会合から始める
- ・無理のない範囲

【設問13】市で行っている防災・減災対策のうち、効果的だと思うものはどれですか

選択項目	回答件数	割合
(1) 防災訓練・講習会の実施	31	29.8
(2) 情報発信（気象情報、避難指示等）	61	58.7
(3) 自治会、自主防災組織への支援	10	9.6
(4) その他	2	1.9

(4) その他

- ・わからない ※2人

【設問14】 その他、市政全般でご意見等があれば教えてください

- ・住民が増え、避難所に全員集合出来るのか心配です。避難訓練を設けて欲しい。
- ・防災や災害について、他人事にせず考える機会を作って欲しいと思う。
- ・防災についてですが、まず前提としてハザードマップを自宅で認識していないから危機感がないと思います。自治体側でも、危機感を煽らない程度に、このエリアはこういう点で注意があるから参加して欲しい。や、どういった災害の時に必要性があるのかをもっと明確にしてもらえたら自分事として捉えられると思います。
- ・子育て世帯の働きやすい環境を作って欲しい
- ・「道の駅あがの」がオープンして、メディアなどにも取り上げられて、友人にも「行きたい。いいね。」などと言われるようになりました。これからもっと宣伝して、魅力ある商品をおいて、多くの方に来てもらえる道の駅にしてください。野菜など高くて驚きました。もっと安くできるように、市の支援をお願いします。

・夕方5時の時報をむかえると、防災スピーカー（でいいんですかねー）から聞こえる音色を聞くと、何だか市民を守っているんだ、って感じで安心感があります。ただ、時には声によるアナウンスの呼びかけがあれば、さらに親近感（＝情報伝達が的確）が伝わってくると思うんです。万が一のシミュレーションにもなるので、月に何度か声によるアナウンスを呼びかけて欲しいです。災害時での混同を無くすために、アナウンスの前に平常時は◎◎音を流した後にアナウンスを入れるなど、実際の災害緊急時は、時間が求められるので緊急アナウンスのみで、日頃より区別を理解するんです。

・防災や減災等だけでなく、地域の活性化や高齢者対策等は互いに関連していると思う。既に行っていると思うが、行政の各部署が連携し合い、一緒に地域に出向く出前講座等を積極的に行ってほしい。

・地域の空き家が目立ってきています。樹木や害虫など身近な問題になっています。空き家対策や市での助成などがあれば、知る機会があると良いです。

・ペットを災害時に預けられる施設がほしい。障害者に配慮した専用の施設も絶対必要だと思います。

・防災無線の放送が風向きによっては内容がよく聞き取れない時がある。防災メールに登録していない高齢者もいると思うので、スピーカーの増設や、村上市のように各家での個別受信機の設置が必要だと思う。

・昨年の県がまとめた観光地満足調査結果で、五頭温泉郷が総合満足度4位、宿泊施設1位という結果で読売新聞に掲載されてました。この様高評価を活かし、積極的にPRしたらどうでしょうか。私的には、五頭登山をしたくても出来ない人の為に麓に見晴台があったら良いなあと前々から思っていました。この機会を活かしご検討を宜しくお願い致します。

・コロナ感染者の人数がわからないのが気になります。

・阿賀野市民病院にかかりつけでないと救急車の受け入れを断られます。病院の体制にもよるのですが、救急車の受け入れを、かかりつけでないからと言う理由で断られるのは、辛いです。税金を使って再建されたと思っておりましたが、この先もいざとなっても頼れない状況に不安を感じます。

・経済を回さないと人口は減少していくと思います。

・ネット社会の中で、市役所に行かなくてもなんでも出来る事はいい事だと思う反面、日常的に人との繋がりがすくなくなり、困りごとの相談などはしにくくなっている（何処へ行ったらいいのかわからなくなっている）と思います。

・横暴な園長がいるこども園があります。何を言っても聞く耳を持たない方です。不満があるなら市役所に行けと言います。市役所は対応してくれるのでしょうか？またそういった問題がある園長がいるときの相談はどこにすれば良いのか分かりやすくホームページにでもあると助かります。関係ない事でしたらすみませんでした。

・高齢者のみ、単身者、乳幼児世帯が近隣にどの程度住んでいるか分からない。万が一の際、声かけや手助けなど必要なのか知っておきたいが、プライバシーの観点からなかなか難しい。

・どのような物を準備した方が良いなどの発信や高齢者、小さな子供のいる世帯に対して災害準備物資の配布などが有ればありがたいです。

・普通に過ごし、ゴミもちゃんとしてても偏見な目で見られなんで仲良くなることはありません。勝手な想像されたりとかで、顔を見れば凄くいらんできたりとかあるので、そういう町内もあると思うので、防災訓練に参加できない人も居るか…

・遊べる公園が欲しいです

・Jアラートが鳴ったら、どこに逃げれば良いですか？

・広報を出してお仕舞いではなく、意識を高めるための手だてを考える。防災グッズのチェックシートを配ったり、例えば燃えにくいと言われるリュック購入の為の割引等も含めて向き合う姿勢を見せるのも必要ではないか。

・個人に平等に商品券の配布は良かったと思う。使いやすさを考えて1枚500円にするべき、また一方を無地にする等カラーに拘らずに、経費削減も考えて欲しい。

・稲刈り後の野焼きは本当にやめてほしい。朝から野焼きをしているところがあり、黒煙が上がっている場合もある。喉の痛みや目の痛みを感じ、取り締まり強化願います。

・自然災害が一番怖いです。事前対策の徹底をお願いします。

・より市民に分かりやすい防災活動を望みます。

・備蓄食料等の配布